

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	糸球体疾患における早期ポドサイト傷害評価の研究-後向き研究-		
1.研究の目的と方法	研究の目的： この臨床研究は、腎疾患（とくに糸球体疾患）の患者さんを対象に、早期のポドサイト（糸球体上皮細胞）傷害を検出できるかどうかを調べることを目的としています。ポドサイトは腎臓の濾過装置（糸球体）の主要な部分を占める細胞であり、この異常が尿たんぱくならびに慢性腎臓病の進行を引き起こします。ポドサイトの異常を早期に検出することで、慢性腎臓病の進行抑制に役立てることを目的としています。具体的には、ポドサイトにおいて、傷害時に増えることが分かっている特定のたんぱく（MAFF および EGR-1）の発現割合が、腎疾患（特に糸球体疾患）によって異なるか、同じ腎疾患において疾患の進行具合あるいは治療へ反応具合によって異なるか、を明らかにします。後者に関しては腎生検後の腎機能あるいは尿たんぱく量の変化を調べ、評価します。 *MAFF および EGR-1 は転写因子の1つであり、DNA に結合し、RNA への転写を促進あるいは抑制することで細胞機能を調節しています。機序はまだはっきり分かっておりませんが、動物実験で傷害されたポドサイトに傷害早期に増加することが知られており、ポドサイトの正常機能を抑制している可能性が示唆されています。		
2.研究期間	倫理委員会承認日～2029年3月31日までを予定しています。		
3.対象となる方等	1995年1月1日から2020年3月31日までに附属病院、附属第三病院、あるいは足利赤十字病院で腎生検を施行された方		
4.研究に利用する試料・情報について	(1)試料の種類	腎生検組織	
	(2)試料の取得の方法	診断のためにすでに採取された腎生検組織です。	
	(3)情報の種類	診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、尿検査、腎生検結果）など	
	(4)情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5.研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1)研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 腎臓・高血圧内科
		氏名	岡部 匡裕
	(2)当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
(3)試料・情報の 管理責任 者	東京慈恵会医科大学 腎臓・高血圧内科 岡部 匡裕		

	(4)共同で研究を実施する機関とその責任者	足利赤十字病院 内科 平野 景太（機関の長：室久 俊光）
6.試料・情報を他機関とやり取りすることについて	<p>この研究で収集・取得された試料・情報は、患者さんのお名前やカルテ番号などの個人情報を削除し、新たに研究用の ID や番号をつけてから、5(1)に記載された研究代表者のもとに、以下の方法で集められます。</p> <p>提供方法：追跡可能な方法で郵送。パスワードを掛けた電子ファイルをメール送付。</p> <p>試料・情報の利用開始予定日：2018年10月頃～</p>	
【問い合わせ先】	<p>機関名：東京慈恵会医科大学 腎臓・高血圧内科 研究責任者：助教 岡部 匡裕（おかべ まさひろ） 附属病院連絡担当者：助教 小池 健太郎（こいけ けんたろう） 電話番号：03-3433-1111（内線：3221） 対応時間：平日 9：00 ～ 17：00</p> <p>附属第三病院連絡担当者：助教 岡部 匡裕（おかべ まさひろ） 電話：03-3480-1151（内線：3121） 対応時間：平日 9：00 ～ 17：00</p>	

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。